

うまい!

岩船米づくり情報 号外

平成 27 年 7 月
岩船米技術者会議
村上農業普及指導センター
J A にいがた岩船

水田周辺の斑点米カメムシ類が多いです！県の注意報発令中！

地域一斉の草刈りと薬剤防除が重要です！

～水田周辺及び水田内の除草対策と適期防除を実施しましょう！～

1 斑点米を引き起こすカメムシ類

オオトゲシラホシカメムシ

多くの※雑草を食害
歩いて本田侵入モミ
を突き通す

※ヨモギ、オオバコ、
ギンギシ等



アカヒゲホソミドリカスミカメ

イネ科雑草を食害
本田に飛んで侵入
割れ粃で被害拡大

発生・被害増加中



アカスジカスミカメ

イネ科雑草を食害
本田に飛んで侵入
割れ粃で被害拡大

発生・被害増加中



ホソハリカメムシ

ヒエを好む
本田に飛んで侵入
粃を突き通す



近年、発生が増加している「アカスジカスミカメ」は、水田内のヒエや
ホタルイなどでも繁殖するので雑草の取りこぼしを無くしましょう！

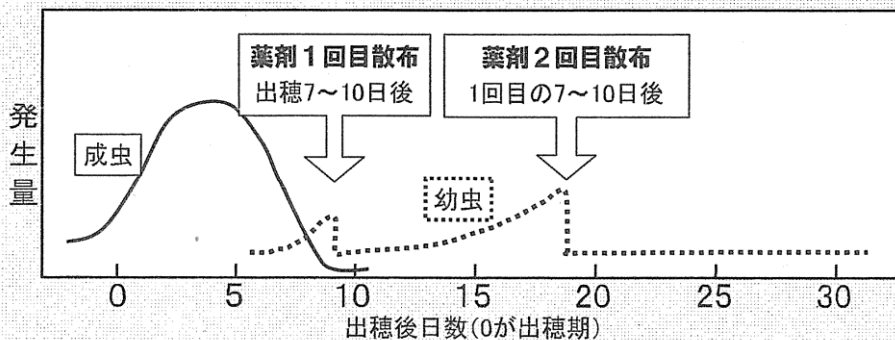
2 本田殺虫剤散布

斑点米の多発事例では、本田1回防除の場合が多く、粉剤や液剤を使用する場合は2回防除が欠かせません。

2回防除が出来ない場合は、水面施用剤で、稲体に吸収させる方法を選択しましょう。

(1) 粉剤または液剤を2回散布する場合

防除水田での発生(模式)



1回目散布: 出穂期の7~10日後頃(カメムシ成虫侵入後~斑点米発生前に相当)

2回目散布: 1回目の7~10日後頃(1回目散布時にあった卵が概ね孵化した時期に相当)

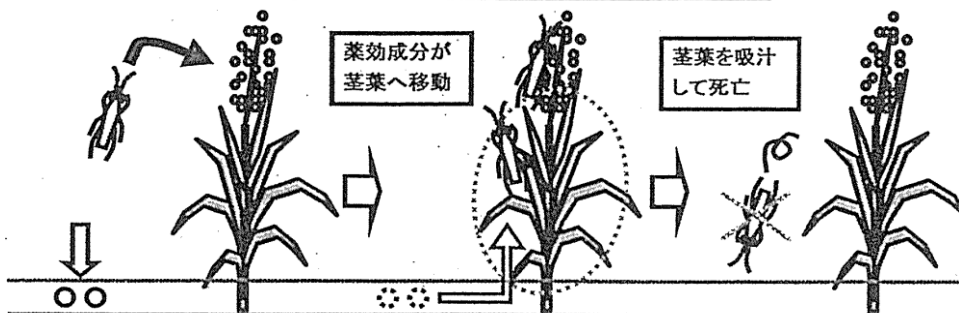
この2回の散布により、登熟中後期の幼虫を抑え、斑点米の発生を防止します!!

(2) 水面施用剤を使用する場合

◎ イネに有効成分をしっかりと吸収させることが大切です。

粒剤散布時期と水管理

- ・散布適期: 出穂期~出穂期7日後。
- ・水管理: 水深3cm程度の浅水条件で散布し、散布後7日間は、止め水にして水の入れ替えやかけ流しをしない。



【重要なポイント】

カメムシ対策は薬剤防除だけでは不十分。地域一斉に、草刈りをしましょう！